

再度届出を行う理由の記載例(リコール届出一覧表(届出番号2325及び外-1570))
(リコール届出に関する国土交通省の報道発表資料より)

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL 03-5253-8111 内線 42353
アドレス : <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成21年6月11日

リコール届出番号	2325	リコール開始日	平成21年6月12日
届出者の氏名又は名称	日野自動車株式会社 代表取締役社長 白井 芳夫		問い合わせ先:お客様相談窓口 TEL 0120-106558
不具合の部位(部品名)	かじ取り装置		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	かじ取り装置において、ナックルアームをナックルに固定するボルト2本のうち1本について、熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、早期に当該ボルトが破損し、最悪の場合、2本とも折損し、ナックルアームが外れて操舵不能となるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該ボルトを良品と交換する。なお、当該ボルトが損傷している場合には、他のボルトも新品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	他社からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメールまたは直接訪問で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近に 2325のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
日野	PJ-KV234L1	日野 ブル-リボン	KV234L1-7000276 ~ KV234L1-7000301 平成17年12月20日 ~ 平成18年 3月13日	19	
	PJ-KV234N1		KV234N1-7000054 ~ KV234N1-7000119 平成17年12月 9日 ~ 平成18年 3月 1日	32	
	PJ-KV234Q1		KV234Q1-7000023 ~ KV234Q1-7000046 平成17年12月 6日 ~ 平成18年 3月14日	9	
	(計 3 型式)	(計 1 車種)	(製作期間全体の範囲) 平成17年12月 6日 ~ 平成18年 3月14日	(計 60 台)	

備考; 本届出は、平成18年5月30日付け「届出番号1670」のリコール届出において、原因調査が不十分であったため、改善措置の内容並びに対象範囲を見直すものである。

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

(二重下線は消費者委員会が付した。)

連絡先	自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室
TEL :	03-5253-8111 内線 42353
アドレス	http://www.mlit.go.jp/

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成21年5月14日

リコール届出番号	外-1570	リコール開始日	平成21年5月14日
届出者の氏名又は名称	フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社 代表取締役 グラシモス・ドリザス	製作国：イギリス 製作者名：ベントレー モーターズ リミテッド 問合せ先：ベントレーコール（フリーダイヤル） 0120-97-7797	
不具合の部位（部品名）	燃料装置（燃料フィルタ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 燃料フィルタの防錆処理が不適切なため、道路凍結防止剤により当該フィルタが腐食することがある。そのため、そのまま使用を続けると燃料が漏れるおそれがある。 ② 燃料フィルタの取り付けバンドの止め具の位置に不適切なものがあるため、フィルタの表面処理に損傷を与え、道路凍結防止剤による腐食が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると燃料が漏れるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、燃料フィルタを点検し、対象の部品は対策品と交換する。 ② 全車両、取り付けバンドの位置を確認し、不適切なものは取付位置を改善するとともに、燃料フィルタを新品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	販売店からの報告による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> 自動車使用者：ダイレクトメール、電話、または訪問により通知する。 自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 対策実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に外-1570のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ベントレー	ABA-BCBWR	コンチネンタルGT	SCBCE63W37C047598～SCBCE63WX9C060495 平成19年3月28日～平成20年9月16日	67	①67 ②23
		コンチネンタルGT Speed	SCBCF63W68C056942～SCBCF63W69C060572 平成20年3月29日～平成20年9月17日	42	①42 ②34
	ABA-BSBWR	コンチネンタルフライングスパー	SCBBE53W57C047589～SCBBE53W39C060294 平成19年3月28日～平成20年9月11日	190	①190 ②116
		コンチネンタルフライングスパー Speed	SCBBF53W29C057593～SCBBF53W59C060407 平成20年6月27日～平成20年9月19日	6	①6 ②6
	ABA-BDBWR	コンチネンタルGTC	SCBDE23W87C047626～SCBDE23W19C060561 平成19年3月28日～平成20年9月26日	87	①87 ②32
	計6型式	計4車種	製作期間の全体の範囲 平成19年3月28日～平成20年9月26日	計392台	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。

（備考）本件は、平成20年9月26日付け届出番号「外-1519」にてリコール届出を行ったものですが、対象車について選定漏れがあったため、リコール対象車の台数を追加し新たに届出するものです。

（二重下線は消費者委員会が付した。）

リコール届出一覧表(届出番号2379及び2540)(リコール届出に関する国土交通省の報道発表資料より)

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL 03-5253-8111 内線42353
アドレス : <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成21年9月10日

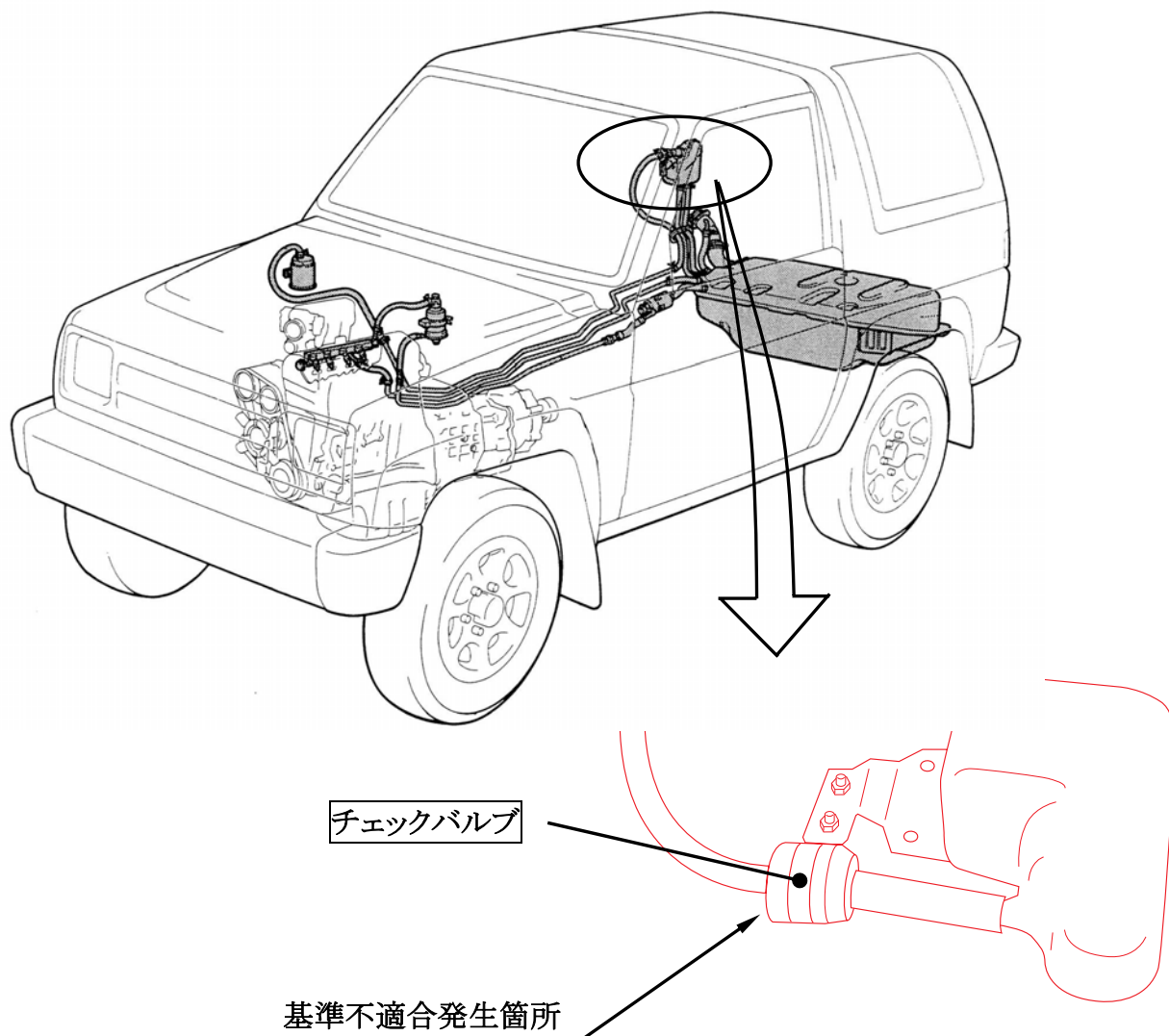
リコール届出番号	2379	リコール開始日	平成21年9月11日
届出者の氏名又は名称	ダイハツ工業株式会社 取締役社長 箕浦 輝幸	問い合わせ先:お客様相談室 TEL 0800-500-0182	
不具合の部位(部品名)	燃料装置(キャニスタ配管チェックバルブ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェックバルブの耐久性が不十分なため、長期間使用すると亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、燃料蒸発ガスが車室内に漏れ、ライター等の火が引火して火災に至るおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該チェックバルブを対策品と交換する。 <u>なお、部品の供給に時間を要することから、部品が供給できるまでの暫定措置として、全車両、当該チェックバルブを補強し、後日対策品に交換する。また、定期点検整備において、確実に当該部位を点検するよう注意喚起する。</u>		
不具合件数	1件	事故の有無	火災1件うち人身1件
発見の動機	市場からの情報及び国土交通省からの指摘による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に 2379のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ダイハツ	E-F300S	ロッキー	F300S-000031 ~ F300S-012773 平成 2年 6月21日 ~ 平成 9年 4月24日	12,674	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 2年 6月21日 ~ 平成 9年 4月24日	(計 12,674 台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

(二重下線は消費者委員会が付した。)

改善箇所説明図



燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェックバルブの耐久性が不十分なため、長期間使用すると亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、燃料蒸発ガスが車室内に漏れ、ライター等の火が引火して火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、当該チェックバルブを対策品と交換する。なお、部品の供給に時間を要することから、部品が供給できるまでの暫定措置として、全車両、当該チェックバルブを補強し、後日対策品に交換する。また、定期点検整備において、確実に当該部位を点検するよう注意喚起する。

注： は交換部品を示す。

識別： 改善済車両にはエンジンルーム内ネームプレート車両右側に黄色ペイントを塗布する。

(二重下線は消費者委員会が付した。)

連絡先	自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 TEL 03-5253-8111 内線 42353 アドレス: http://www.mlit.go.jp
-----	---

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成22年5月21日

リコール届出番号	2540	リコール開始日	平成22年5月21日
届出者の氏名又は名称	トヨタ自動車株式会社 問い合わせ先： 取締役社長 豊田 章男 レクサスインフォメーションデスク TEL 0800-500-5577		
不具合の部位（部品名）	かじとり装置（ギヤ比可変ステアリングシステム）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ギヤ比可変ステアリングシステム（VGRS）の制御プログラムが不適切なため、通常の据え切り操作から急ハンドルのような素早い戻し操作をすると、一時的にハンドルの中立位置が大きくなる可能性がある。		
改善措置の内容	全車両、制御プログラムを修正したVGRSコンピュータと交換する。 <u>なお、交換部品の準備が整うまでの間、運転時の注意事項を使用者に周知する。</u>		
不具合件数	12件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.2540のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
レクサス	DBA-USF40	LS460	USF40-5091493～USF40-5091552 平成21年9月2日～平成21年9月28日	20	
			USF40-5094289～USF40-5099016 平成21年11月18日～平成22年5月13日	1,304	
	DBA-USF45		USF45-5004579～USF45-5004586 平成21年9月7日～平成21年9月8日	3	
	USF45-5005889～USF45-5007783 平成21年11月26日～平成22年5月12日		58		

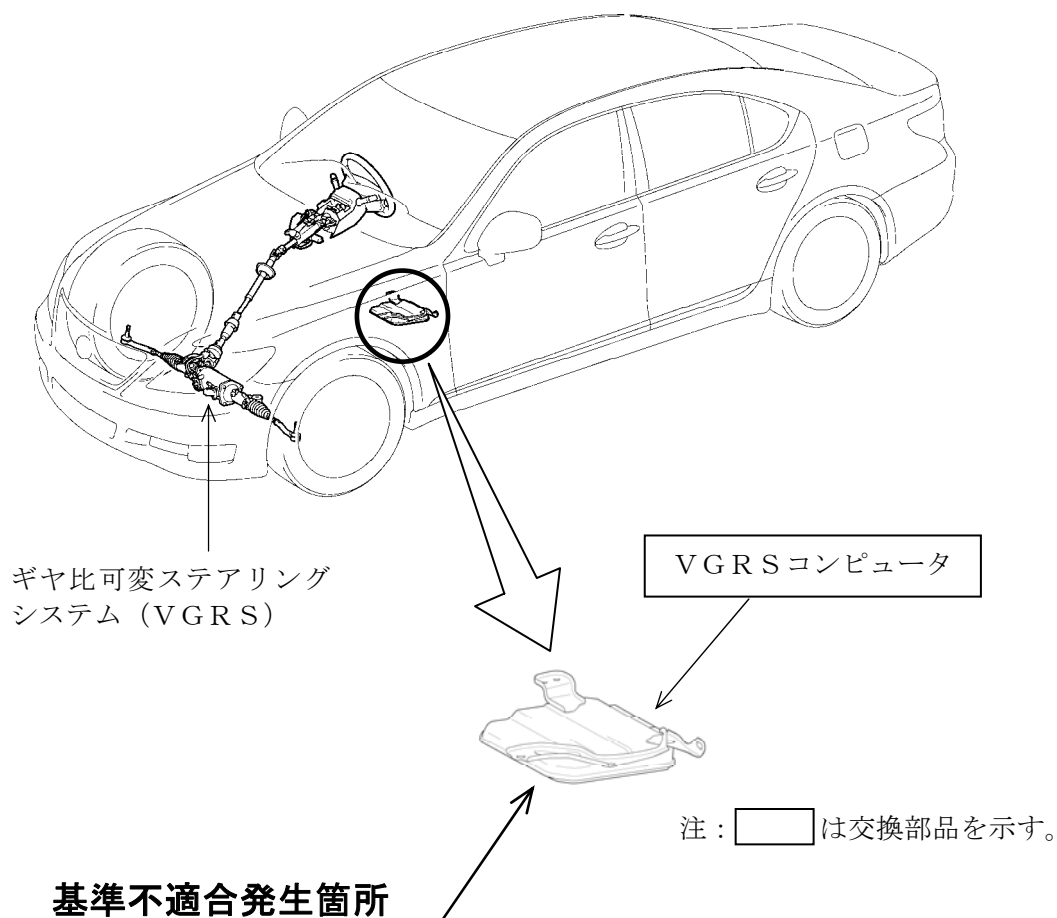
（二重下線は消費者委員会が付した。）

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
レクサス	DBA-USF41	LS460L	USF41-5036886～USF41-5036901 平成21年 9月 4日～平成21年 9月10日	4	
			USF41-5038151～USF41-5040670 平成21年11月19日～平成22年 5月13日	71	
	DBA-USF46		USF46-5001455～USF46-5002323 平成21年12月15日～平成22年 5月12日	10	
	DAA-UVF45	LS600h	UVF45-5007503～UVF45-5007528 平成21年 8月28日～平成21年 9月30日	22	
			UVF45-5007665～UVF45-5009712 平成21年11月20日～平成22年 5月13日	1,958	
	DAA-UVF46	LS600hL	UVF46-5010863～UVF46-5010919 平成21年 9月 7日～平成21年 9月23日	9	
			UVF46-5011039～UVF46-5012814 平成21年11月20日～平成22年 5月13日	570	
	DBA-USF40	LS460	車両製作後、修理等で対象となるVGRS コンピュータが組付けられたもの	480	
	DBA-USF45				
	DBA-USF41	LS460L			
	DBA-USF46				
	DAA-UVF45	LS600h			
	DAA-UVF46	LS600hL			
	(計 6 型式)	(計 4 車種)			(製作期間の全体の範囲) 平成21年 8月28日～平成22年 5月13日

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



ギヤ比可変ステアリングシステム (VGRS) の制御プログラムが不適切なため、通常の据え切り操作から急ハンドルのような素早い戻し操作をすると、一時的にハンドルの中立位置が大きくずれることがある。

改善の内容

全車両、制御プログラムを修正したVGRSコンピュータと交換する。

なお、交換部品の準備が整うまでの間、運転時の注意事項を使用者に周知する。

使用者へ通知する主な「運転時の注意事項」

- ・ハンドルを据え切り状態にしたのち、急ハンドルのような素早い戻し操作をできるだけ避けていただくようお願いする。
- ・ハンドル中立位置ずれが発生した場合は、車両の進行方向に注意してハンドルを操作していただくとともに、急な発進や加速は行わないようお願いする。

識別：改善済車両にはエンジンルーム内の車台番号打刻位置右下部に黄色ペイントを塗布する。

(二重下線は消費者委員会が付した。)